

サービス担当者会議と(自立支援)協議会の活用についてのまとめ

【演習】



令和3年度サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者指導者養成研修資料

本研修の内容・目的

サービス担当者会議や(自立支援)協議会に関する講義を踏まえ、多職種連携や地域連携の重要性、意識、ポイントについてグループワーク等による討議を通して、連携の在り方についてまとめを行う。



演習 I にあたって、ポイントの整理

できていること、できていないことの整理
基礎研修終了後から実践研修までの期間中の
OJTについて振り返ります。



- ・自分ができたこと、できなかったこと
- ・自事業所におけるサビ児管の仕事ぶりを見てできていること、できていないこと
- ・できていないことは、これから必要なこと

演習 I の流れ

①個人ワーク【10分】

日頃の実践と講義の内容を照らし合わせて自己評価を行う。

1) 関係機関との連携

サビ児管同士の連携、学校や病院、就労等関係機関などとの連携はどうか？

2) 相談支援専門員との連携

相談支援専門員と利用者の状況について(自身または自事業所におけるサビ児管が)常に連絡を取り合っているか？

3) 担当者会議の開催依頼(出席)

相談支援専門員が開催するサービス担当者会議に自身が出席したか？

自事業所におけるサビ児管が出席するサービス担当者会議の様子を見学したか？

相談支援専門員からの連絡を待つのではなく、事業所側から連絡をしたり担当者会議の重要性について理解したりできているか？

4) サビ児管から見た地域課題への対応 (自立支援協議会への報告等)

自事業所で解決できないニーズは何か？

事業所内で解決できないニーズを地域課題として捉えているか？

地域で共有し、改善にあたって協議しているか？



演習 I の流れ

②グループ発表【3分×9人】

個人ワークで記入したものをグループで発表する。

③全体発表【2分×4グループ】

グループ内で出た内容を発表し、全体共有する。



それでは、次ページからのシートに整理してください。



関係機関との連携

できている(理由↓)

できていない(こんなことが必要↓)

相談支援専門員との連携

できている(理由↓)

できていない(こんなことが必要↓)

担当者会議の開催依頼(出席)

できている(理由↓)

できていない(こんなことが必要↓)

事業所利用者の地域課題への対応 (自立支援協議会への報告・参加等)

できている(理由↓)

解決できていないニーズ(こんなことが必要↓)

演習Ⅱの流れ (実践研修全体を振り返っての自己評価)

①個人ワーク:サビ児管の資格を得ることでの決意表明
自分はこんなサビ児管になりたい、ここが足りないから頑張りたい など

②グループ発表:あなたの決意表明をグループで発表しましょう。

【発表1人3分×9人】

③全体発表【2分×2グループ】

まとめ

あなたの事業所も地域の中の1つの大切な社会資源です。
自事業所だけで解決できないことは、抱え込まず、相談支援
専門員との共有、協議会の活用など、関係機関で連携でき
る体制を作っていきましょう。

